

(様式2)新規評価シート

建設部 道路建設課

事業名	県単道路改築事業		路河川名等	主要地方道 松本環状高家線		
事業毎の通番	11	市町村名	松本市	箇所名(ふりがな)	梓橋(あずさばし)	
事業目的	梓橋は、松本市と安曇野市を結ぶ主要な路線(旧国道147号)であり、現在は主要地方道松本環状高家線の一部となっている。従来からの慢性的な渋滞箇所であり、下流側にアルプス大橋を新設(H19.7供用開始)し、国道を振り替えて交通分散を図ったものの、松本地域～安曇野地域を結ぶ最短経路であることから、特に通勤時間帯に交通需要が集中し、1kmを超える渋滞が発生している。このため、現橋の未拡幅部の拡幅により、最も渋滞する松本市方面の右折車線の滞留長の確保して、渋滞の解消を図りたい。					
しあわせ信州創造プラン2.0における位置付け	3-8 生活を支える地域交通の確保 2 生活の基盤となる道路網の整備	事業実施の根拠法令等	道路法			
関連する事業、計画等	信州みちビジョン I(2)②渋滞解消による道路環境整備 長野県移動性・安全性向上検討委員会 イライラ箇所					
保全対象・範囲 受益対象・範囲	計画交通量：21,956台/日					
着手年度	2019(平成31年度)	事業期間	4年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)	
完成年度(見込み)	2022(平成34年度)	費用対効果	11.2		国庫 其他 県債 一般財源	
全体事業内容(主な工種)	・橋梁拡幅工 L=75m、W=3.0m			300,000	270,000 30,000	
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	走行経費の減少 1.14億円 渋滞解消				
	間接的効果(定量的・定性的)	地域間交流の促進				
評価の視点	必要性	○計画交通量：21,956台/日 ○代替道路の有無：安全性の高い代替道路(中央橋)がある ○医療・福祉・教育施設との連携：社会福祉法人あずみの里との連携が発揮できる道路(1次アクセス) ○交通結節点アクセス：梓川SICへの1次アクセス(1.5km) ○地域の活性化：安曇野(観光地)へ通じる道路			評価	A
	重要性	○関連計画、重点施策との整合：信州みちビジョン、イライラ箇所 ○緊急輸送路の路線指定：緊急輸送道路の路線指定はない ○地域指定：地域指定はない			評価	B
	効率性	○費用対効果(B/C)：11.22 ○事業期間：4年間 ○代替案の検討：拡幅方法について比較検討あり ○他事業との連携：他事業との連携はない			評価	A
	緊急性	○近年の交通事故件数：人×自動車事故発生 6件(H25～H29) ○道路環境改善：イライラ箇所の渋滞緩和 ○歩道整備：なし ○現況の車道幅員：現状車線なし、右折車線の追加			評価	A
	計画熟度	○事業情報の共有：関係者を中心に周知(H27～H29関係者会議、H30広報展示を実施予定) ○地域の取り組み：梓橋早期改修連絡協議会(市民団体)より20,000人以上の署名あり(H26) ○地域の合意形成：「梓橋の新設(改修)の早期着工の請願」採択(H26安曇野市議会) ○住民との協働：渋滞対策として、ノーマイカーデー、時差出勤、公共交通機関の利用等を推進			評価	A
	所管課意見	事業の必要性、効率性、緊急性、計画の熟度が高いため、平成31年度から事業着手したい。			採択状況	○
技術管理室意見	所管課の意見を適当と認める。			総合評価	A	

【位置図】

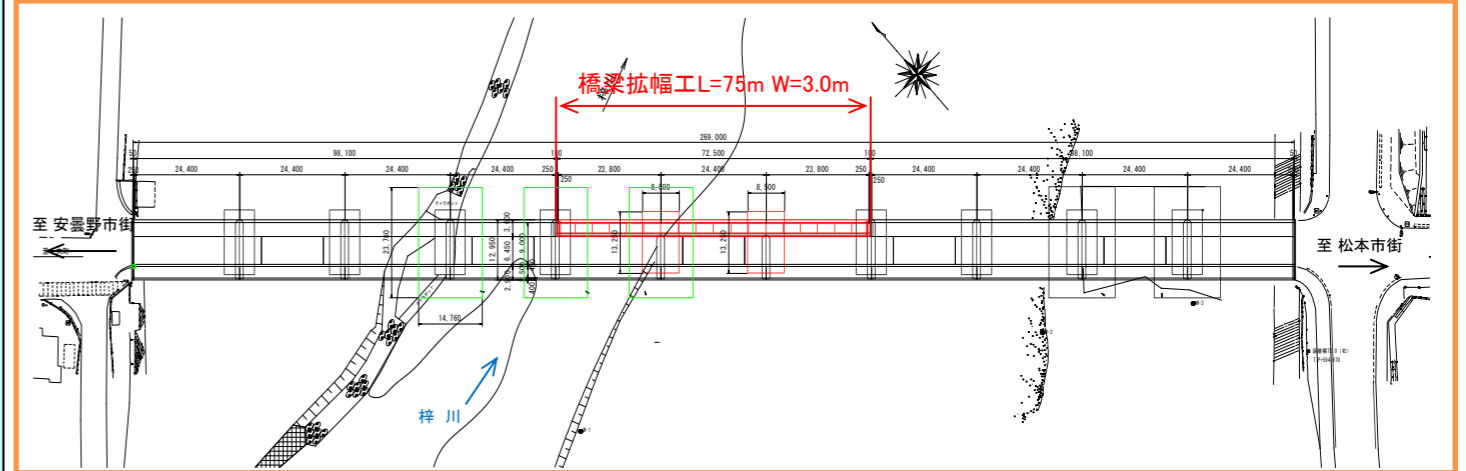


【整備の必要性がわかる状況写真等】



事業概要説明図表

【平面図】



事業周辺環境

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	梓橋は、渋滞対策として下流にアルプス大橋を新設し国道から格下げしており、また、長寿命化計画に基づき、平成26年度及び平成29年度に補修工事を実施していることから、当面架け替え計画はない。 また、交通量調査結果によると、朝の通勤時間帯(短時間)に交通需要が集中し、1kmを超える渋滞が発生しており、早期に実施可能で効果のある渋滞対策が必要とされている。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	平成26年 梓橋早期改修連絡協議会(市民団体)より、「梓橋の新設(改修)の早期着工の請願」が21,524名の署名を添えて安曇野市議会へ提出され、安曇野市議会において採択 平成28年 安曇野市長による松本建設事務所長要望「梓橋周辺の渋滞対策」
③事業説明等の経緯	平成29年度に河川管理者(千曲川河川事務所)へ構造に関する事前協議を実施
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	特になし
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	渋滞解消により、渋滞時の二酸化炭素(CO2)の発生量を削減する。 効率的な仮設計画により工期を短縮し、河川環境への影響を最小化する。
⑥地域活性化への影響と配慮	本事業により交通の円滑化が図られ、付近の商業施設等の活性化も期待される。
⑦その他	護床工を実施し、低下傾向にある河床の安定を図る。

事業代表地点の緯度経度  
北緯:N 137° 55' 17.7"  
東経:E 36° 15' 0.93"


(様式2)新規評価シート

建設部 道路建設課

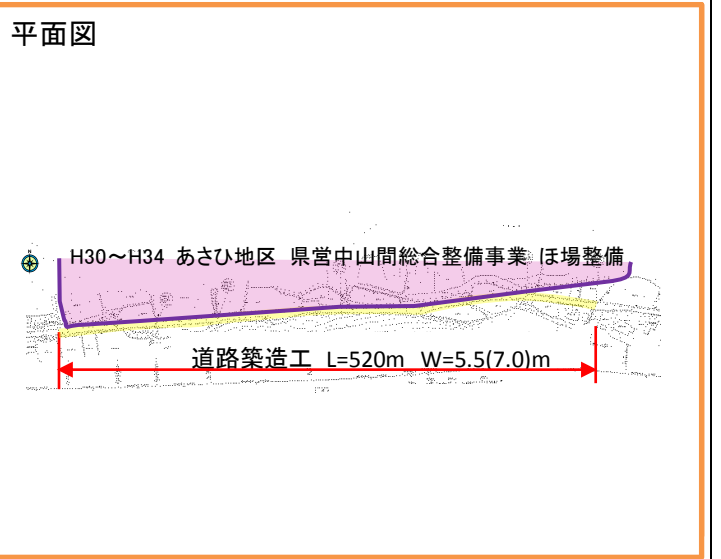
事業名	県単道路改築事業		路河川名等	(一)御馬越塩尻停車場線		
事業毎の通番	12	市町村名	東筑摩郡 朝日村	箇所名(ふりがな)	大石原(おおいしはら)	
事業目的	(一)御馬越塩尻停車場線は朝日村御馬越(おんまご)地区から塩尻駅に至る重要な生活道路であり、村営バス路線広丘線としても利用され、また観光地サラダの里・朝日村のアクセス道路としての機能を有している。 当地区は、30年度から「あさひ地区」県営中山間総合整備事業で圃場整備を進めているが、接続する道路の幅員が狭小で、普通車のすれ違いが困難となるなど、道路交通の確保に支障が生じているため、圃場整備事業に併せて道路拡幅を行いたい。					
しあわせ信州創造プラン2.0における位置付け	3-8生活を支える地域交通の確保(生活基盤となる道路網の整備)		事業実施の根拠法令等	道路法		
関連する事業、計画等	朝日村第5次総合計画(H26~H30)					
保全対象・範囲 受益対象・範囲	計画交通量 1,600台/日					
着手年度	2019(平成31年度)	事業期間	4年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)	
完成年度(見込み)	2022(平成34年度)	費用対効果	2.2		国庫 0 0 108,000 12,000	
全体事業内容(主な工種)	道路拡幅工 L=520.0m、W=5.5(7.0)m			120,000	0 0 108,000 12,000	
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	走行経費の減少:0.1億円 災害に強い道路				
	間接的効果(定量的・定性的)	地域間交流の促進				
評価の視点	必要性	○計画交通量 : 1,600台/日 ○代替道路の有無 : 代替道路がある。 ○医療・福祉・教育施設との連携 : 桔梗ヶ原病院へのアクセス道路(1次アクセス) ○交通結節点アクセス : 村営バス広丘線、朝日村役場アクセス。 ○観光振興・地域の活性化 : アサヒプライムスキー場の活性化に資する道路。			評価	A
	重要性	○関連計画、重点施策との整合 : 朝日村第5次総合計画(H26~H30)。 ○緊急輸送道路の路線指定 : 朝日村避難路。 ○地域指定 : 振興山村地域・積雪地域に指定。			評価	A
	効率性	○費用便益比(B/C) : 2.2 ○事業期間 : 4年間 ○工法等の比較検討 : 土留め工について検討あり ○他事業との連携 : あさひ地区 県営中山間総合整備事業(H30~34)。			評価	A
	緊急性	○近年の交通事故件数 : 0件 ○道路環境改善 : 局所的な現象を緩和。 ○歩道整備 : 該当無し ○現況の車道幅員 : 車道幅員3.5m			評価	B
	計画熟度	○事業情報の共有 : 朝日村第5次総合計画をHP等で公表し幅広く住民に周知。 ○地域の取り組み : 朝日村長(H29.4.26)から建設事務所長へ要望がある。 ○地域の合意形成 : 地権者を対象とした計画説明会をH28.11.29に開催し、事業目的、整備手法に合意形成が図られている ○住民との協働 : 路肩の草刈り等維持管理について、住民との協議を行っている。			評価	A
	所管課意見	事業の必要性、重要性、効率性、計画の熟度が高いため、平成31年度から事業着手したい。			採択状況	総合評価
技術管理室意見	所管課の意見を適当と認める。			○	A	

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意ですが、見やすいもので)

位置図

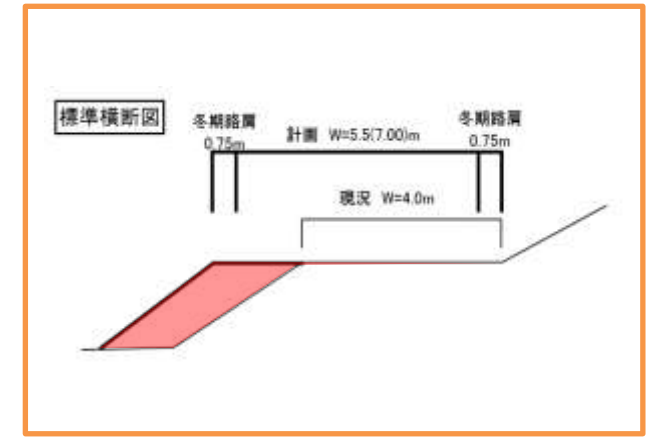


平面図



事業概要説明図表

【整備の必要性がわかる状況写真等】



事業周辺環境

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	(一)御馬越塩尻停車場線は塩尻駅と御馬越地区とを結ぶ県道であり、朝日村の幹線道路である。御馬越地区への唯一の県道であるが、幅員が狭く人家が連担しているため、道路整備が望まれている。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	本事業区間は、幅員狭小で大型車とのすれ違いが困難な状況にある。特に、集落内は幅員狭小、視距も悪く、交通の安全に支障を来している。地元から線形改良の要望が強い。
③事業説明等の経緯	平成28年11月から地元説明会開催を重ね、地域の合意形成が図られている。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	あさひ地区 県営中山間総合整備事業(H30~34)と密接に関連している道路。朝日村第5次総合計画(H26~H30)に道路整備が位置付けられている。
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	安全な通行が確保させることにより、生活環境の改善が期待される。
⑥地域活性化への影響と配慮	本事業により交通の円滑化が図られ、スキー場等の観光資源の活性化も期待される。
⑦その他	土留工法を検討し、コスト削減を図っている。

事業代表地点の緯度経度  
北緯:N 138° 00' 00" 00  
東経:E 36° 00' 00" 00

(様式2)新規評価シート

建設部 道路建設課

事業名	県単道路改築事業		路河川名等	(主)丸子信州新線			
事業毎の通番	13	市町村名	筑北村	箇所名(ふりがな)	入川(いりかわ)		
事業目的	(主)丸子信州新線は、麻績村から長野市大岡へ通じる第2次緊急輸送路である。しかし、当該箇所は幅員狭小であるとともに、線形不良区間であるため、緊急車輛の通行にも支障をきたす状況となっている。このため、道路整備おこない車両の安全な通行を確保したい。						
しあわせ信州創造プラン2.0における位置付け	3-8生活を支える地域交通の確保(生活基盤となる道路網の整備)		事業実施の根拠法令等	道路法			
関連する事業、計画等	第2次筑北村総合計画 信州みちビジョン I-(1)② 拠点間をつなぐ道路ネットワーク						
保全対象・範囲 受益対象・範囲	計画交通量：1,331台/日						
着手年度	2019(平成31年度)	事業期間	9年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)		
完成年度(見込み)	2027(平成39年度)	費用対効果	1.04		国庫	その他	県債 一般財源
全体事業内容(主な工種)	道路拡幅工 L=370m W=5.5(7.0)m			200,000		180,000	20,000
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	走行経費の減少 600万円 曲線部及び幅員狭小部の安全性の向上					
	間接的効果(定量的・定性的)	地域間交流の促進 観光振興					
評価の視点	必要性	○計画交通量：1,331台/日 ○代替道路の有無：代替道路なし ○医療・福祉・教育施設との連携：玉井医院との連携が発揮できる道路(1次アクセス) ○交通結節点アクセス：長野自動車道 麻績IC アクセス(1.6km)、バス路線(麻績村営バス) ○観光振興・地域の活性化：聖高原へアクセス道路					評価 A
	重要性	○関連計画、重点施策との整合：第2次筑北村総合計画 ○緊急輸送路の路線指定：第2次緊急輸送路に指定 ○地域指定：振興山村、過疎及び積雪地域					評価 A
	効率性	○費用対効果(B/C)：1.04 ○事業期間：9年間 ○代替案の検討：道路幅員について見直し、土留め工について検討あり ○他事業との連携：他事業との連携はない					評価 B
	緊急性	○近年の交通事故件数：なし ○道路環境改善：山側法面に浮き石点在 ○歩道整備：なし ○現況の車道幅員、半径、勾配：半径30m未満、勾配8%以上の箇所あり					評価 B
	計画熟度	○事業情報の共有：関係者を中心に周知(毎年 筑北村役場職員と現地調査を実施) ○地域の取り組み：筑北村から毎年要望あり ○地域の合意形成：合意形成が図られている ○住民との協働：不明					評価 B
	所管課意見	事業の必要性、重要性、計画の熟度が高いため、平成31年度から事業着手したい。				採択状況 ○	総合評価 B
技術管理室意見	所管課の意見を適当と認める。						

【位置図、平面図、構造図等】

**位置図**

**構造図**

**平面図**

**通行状況**

全体 L=370m w=5.5(7.0) C=200,000(千円)

事業周辺環境	①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当路線は、地域住民の生活圏である松本市まで行くために利用する、国道403号および麻績インターへのアクセスとして重要な位置をしめている。また、隣接する長野市(旧大岡村)から麻績インターへのアクセスにも利用されている。なお、麻績村の村営バス路線となっている(1日8本運行)。現在、未改良部は幅員が狭く大型車のすれ違い等に苦慮している。
	②地域からの要望経緯及び地域の関わり	当該区間は、幅員狭小、曲線部及び急勾配で危険である。このため、地域住民から本路線の利便性及び安全の向上を要望されている。
	③事業説明等の経緯	本事業区間については地権者及び地域住民へ現地説明会を行っている。早期の事業化が求められている。
	④他事業・プロジェクトとの整合、関連	なし
	⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	改良区間を最小限とし、地形改変を小さくする。
	⑥地域活性化への影響と配慮	本事業により交通の円滑化が図られ、安全な通行が確保されることにより周辺観光地の活性化も期待される。
	⑦その他	なし

事業代表地点の緯度経度	北緯:N 36° 27' 52" 8 東経:E 138° 00' 06" 4
-------------	---

(様式2) 新規評価シート

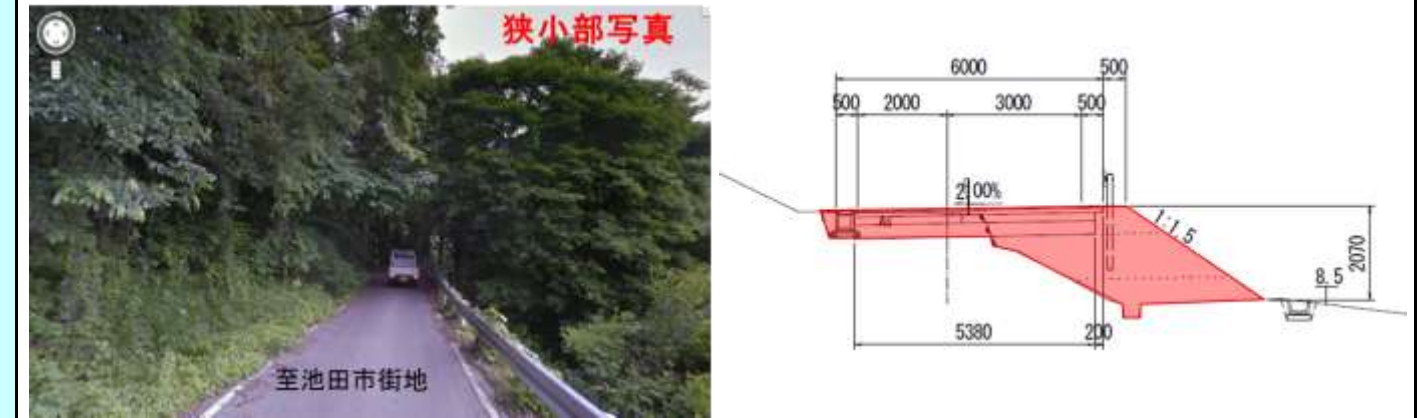
建設部 道路建設課

事業名		県単道路改築事業		路河川名等	(一)宇留賀池田線				
事業毎の通番		14	市町村名	池田町	箇所名(ふりがな)	菅の田(すげのた)			
事業概要	事業目的	当路線は狭小部が多く、普通乗用車のすれ違いが困難な箇所が多く存在し、地元から改築の要望が挙がっている箇所である。本事業において、5箇所の待避所を設置することで車両交通の安全性を確保したい。							
	しあわせ信州創造プラン2.0における位置付け	3-8生活を支える地域交通の確保(生活基盤となる道路網の整備)		事業実施の根拠法令等	道路法				
	関連する事業、計画等	信州みちビジョン I-(1)② 拠点間をつなぐ道路ネットワーク							
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	受益対処 計画交通量:900台/日							
	着手年度	2019(平成31年度)	事業期間	6年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)			
	完成年度(見込み)	2024(平成36年度)	費用対効果	1.02		国庫	その他	県債	一般財源
	全体事業内容(主な工種)	道路拡幅工 L=5000m, W=4.0(6.0)m (待避所設置工 N=5箇所)			95,000			85,500	9,500
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	走行経費減少:900万円 災害に強い道路							
	間接的効果(定量的・定性的)	地域間交流の促進							
評価の視点	必要性	○計画交通量 : 900台/日 ○代替道路の有無 : 安全性の低い代替道路(上生坂信濃松川(停)線)がある ○医療・福祉・教育施設との連携 : 安曇病院への2次アクセス道路 ○交通結節点アクセス : 池田町営バス路線(広津線) ○観光振興・域の活性化 : 大峰高原へのアクセス道路					評価	A	
	重要性	○関連計画、重点施策との整合 : 信州みちビジョン ○緊急輸送路の路線指定 : 池田町内交通確保計画の対象路線 ○地域指定 : 地域指定はない					評価	B	
	効率性	○費用対効果(B/C) : 1.02 ○事業期間 : 6年間 ○代替案の検討 : 待避所構造について検討あり ○他事業との連携 : 他事業との連携はない					評価	A	
	緊急性	○近年の交通事故件数 : 0件 ○道路環境改善 : 危険箇所指定はないが安全性を向上させる ○歩道整備 : なし ○現況の車道幅員、半径、勾配 : 曲線半径30m未満					評価	B	
	計画熟度	○事業情報の共有 : 関係者を中心に周知(事業計画について地権者に周知) ○地域の取り組み : 協力的である ○地域の合意形成 : 合意形成が図られている ○住民との協働 : 住民参加型の事業(広津道路愛護会より要望あり)					評価	B	
	所管課意見	事業の必要性が高いため、平成31年度から事業着手したい。					採択状況	総合評価	B
技術管理室意見	所管課の意見を適当と認める。								

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意ですが、見やすいもので)



【整備の必要性がわかる状況写真等】



事業周辺環境

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当路線は狭小部が多く、普通乗用車のすれ違いが困難な箇所が多く存在し、地元から改築の要望が挙がっている箇所である。本事業において、5箇所の待避所を設置することで車両交通の安全性を確保したい	
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	全面拡幅が難しい路線であるため、待避所を設置して欲しいと、地元自治会及び広津道路愛護会から要望を受けている	
③事業説明等の経緯	池田町が地権者に確認を行い、事業についての周知は済んでいる。	
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	なし	
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	樹木伐採本数が多くならない拡幅工法の選定	
⑥地域活性化への影響と配慮	本事業により交通の円滑化が図られ、池田町と国道19号とのアクセスについて活性化が期待される。	
⑦その他	なし	
	事業代表地点の緯度経度	北緯:N 138° 00' 00" 00 東経:E 36° 00' 00" 00

(様式2)新規評価シート

建設部 道路建設課

事業名	県単道路改築事業		路河川名等	(一)美麻八坂線			
事業毎の通番	15	市町村名	大町市	箇所名(ふりがな)	美麻支所下(みあさしよした)		
事業目的	(一)美麻八坂線は、大町市八坂地区と美麻地区を南北に結ぶ幹線街路で、美麻地区の中心部を通過している。当該箇所は、大町市役所美麻支所と美麻小中学校へ向かう市道との交差点前後になるが、縦断勾配の変化点であるとともに、カーブが大きく、見通しが悪い。朝夕の通勤車両と美麻小中学校へ通学する児童等が錯綜し、大変危険な状況にある。このため、交差点改良を含む前後の道路改良を行うことにより、安全で安心な道路の形成を図りたい。						
しあわせ信州創造プラン2.0における位置付け	3-8生活を支える地域交通の確保(生活基盤となる道路網の整備)		事業実施の根拠法令等	道路法			
関連する事業、計画等	信州みちビジョン I-(1)② 拠点間をつなぐ道路ネットワーク						
保全対象・範囲	現況交通量(1741台/日)						
受益対象・範囲	計画交通量(613台/日)						
着手年度	2019(平成31年度)	事業期間	3年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)		
完成年度(見込み)	2021(平成33年度)	費用対効果	1.06		国庫	その他	
全体事業内容(主な工種)	・道路拡幅工 L=200m、W=5.5(7.0)m			30,000		27,000	
					3,000		
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	走行経費の減少 300万円 改良による安全性向上					
	間接的効果(定量的・定性的)	地域間交流の促進 サイクルツーリズムによる観光振興					
評価の視点	必要性	○計画交通量 : 613台/日 ○代替道路の有無 : 代替道路があるが、安全性が低い ○医療・福祉・教育施設との連携 : 美麻支所、美麻小中学校入口、保育園近接 ○交通結節点アクセス : 大町市ふれあいバス路線 ○観光振興・地域の活性化 : 美麻ロードレース開催に毎年多くの参加者あり、サイクルツーリズム				評価	A
	重要性	○関連計画、重点施策との整合 : 信州みちビジョン ○緊急輸送路の路線指定 : 長野県第二次緊急輸送路及び避難経路に指定 ○地域指定 : 豪雪地帯				評価	A
	効率性	○費用対効果(B/C) : 1.06 ○事業期間 : 3年間 ○代替案の検討 : 今後検討 ○他事業との連携 : サイクルツーリズム				評価	A
	緊急性	○近年の交通事故件数 : 2件 ○道路環境改善 : 危険箇所の該当はなし ○歩道整備 : 歩道未整備、通学路交通安全プログラムに位置付けられた通学路対策 視距確保 ○現況の車道幅員、半径、勾配 : 最大勾配9.0%				評価	B
	計画熟度	○事業情報の共有 : 美麻小中学校PTAより毎年要望 ○地域の取り組み : 美麻小中学校PTAより毎年要望 ○地域の合意形成 : 地権者の了承が得られている ○住民との協働 : 地区住民により沿道の草刈を実施				評価	A
	所管課意見	事業の必要性、重要性、効率性、計画の熟度が高いため、平成31年度から事業着手したい。			採択状況	総合評価	
				○	A		
技術管理室意見	所管課の意見を適当と認める。						

【位置図、平面図、構造図等】



事業概要説明図表

【整備の必要性がわかる状況写真等】



事業周辺環境

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当該箇所は(一)美麻八坂線は、大町市八坂地区と美麻地区を南北に結ぶ幹線街路で、美麻地区の中心部を通過している。当該箇所は、大町市役所美麻支所と美麻小中学校へ向かう市道との交差点前後になるが、縦断勾配の変化点であるとともに、カーブが大きく、見通しが悪い。朝夕の通勤車両と美麻小中学校へ通学する児童等が錯綜し、大変危険な状況にある。		
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	大町市の交通安全プログラムに位置付けられており、毎年PTAから視距確保の要望を受けている。		
③事業説明等の経緯	大町市が地権者に確認したところ、事業の内諾を得た。		
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	当該箇所は美麻ロードレースのルートとなっており、毎年多くの参加者が訪れている。北アルプス地域はサイクルツーリズムによる観光地域づくりを目指しており、自転車に配慮した道路環境の整備を行いたい。		
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	法面等の自然環境に配慮した工法を選定予定		
⑥地域活性化への影響と配慮	本事業により交通の円滑化が図られ、サイクルツーリズムの推進へも寄与する。		
⑦その他	なし		
	事業代表地点の緯度経度	北緯:N 36° 34' 51.6" 東経:E 137° 53' 27.62"	

(様式2)新規評価シート

建設部 道路建設課

事業名		県単道路改築事業		路河川名等	(一)内川姨捨(停)線				
事業毎の通番		16	市町村名	千曲市	箇所名(ふりがな)	長尾根(ながおね)			
事業概要	事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>『姨捨の棚田』は重要文化的景観や名勝に指定され、「日本の棚田百選」にも認定されている。</li> <li>棚田を訪れた観光客がビューポイントの場所が分からず、展望したり、休憩したりする場所が少ない。また、棚田保全に地元の農家を含めた6組織が取り組んでいるが、高齢化も進む中で、もっと外部から人を呼び込みことが課題となっている。</li> <li>本事業は、道路改良工により、現道の平面線形及び縦横断を改良し走行の安全を図るとともに、姨捨周辺の観光地の誘客を促進し、地域の観光を支援するものである。</li> </ul>							
	しあわせ信州創造プラン2.0における位置付け	3-2世界を魅了するしあわせ観光地域づくり(観光地域としての基盤づくり)		事業実施の根拠法令等	道路法				
	関連する事業、計画等	地域戦略推進型公共事業(さらしなの里、戸倉上山田温泉をめぐる 賑わいのあるまちづくり ~ 自転車道を核として ~)							
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	計画交通量 3,095台/日							
	着手年度	2019(平成31年度)	事業期間	4年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)			
	完成年度(見込み)	2022(平成34年度)	費用対効果	1.3		国庫	その他	県債	一般財源
	全体事業内容(主な工種)	道路拡幅工 L=300m、W=5.5(7.0)m			100,000			90,000	10,000
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	走行経費の減少 5百万円 災害に強い道路							
	間接的効果(定量的・定性的)	地域間交流の促進 観光地の周遊性の向上、集客増							
評価の視点	必要性	○計画交通量 : 3,095台/日 ○代替道路の有無 : 代替道路があるが、安全性が低い(幅員狭小) ○医療・福祉・教育施設との連携 : 更級小学校への一次アクセス ○交通結節点アクセス : 姨捨SICへのアクセス(1.0km)、姨捨駅へのアクセス(1.0km)、千曲市路線バス(東西線) ○観光振興・地域の活性化 : 観光地 姨捨(田毎の月・棚田)、戸倉上山田温泉の活性化に資する						評価	A
	重要性	○関連計画、重点施策との整合 : 地域戦略推進型公共事業 ○緊急輸送道路の路線指定 : 避難路となる道路 ○地域指定 : 信州観光圏(千曲市)						評価	A
	効率性	○費用便益比(B/C) : 1.3 ○事業期間 : 4年間 ○工法等の比較検討 : ルート案等について比較検討あり ○他事業との連携 : 地域戦略推進型公共事業						評価	A
	緊急性	○近年の交通事故件数 : 1件 H24:1件(車対車) ○道路環境改善 : 線形、縦断改良により安全性が向上 ○歩道整備 : 該当なし ○現況の車道幅員、半径、勾配 : 現況勾配10%						評価	B
	計画熟度	○事業情報の共有 : 関係者を中心に周知(H30.7 地元役員説明、H30.8 地元説明会)						評価	B
		○地域の取り組み : 「科野さらしなの里サイクリング推進委員会」を設立(H28.8設立、H30.9時点で計17回開催)。 ○地域の合意形成 : 地元説明会(H30年8月)により、事業目的に合意形成が図られている。 ○住民との協働 : 沿道の美化活動等を行っている							
所管課意見	事業の必要性、重要性、効率性、計画の熟度が高いため、平成31年度から事業着手したい。						採択状況	総合評価	A
技術管理室意見	所管課の意見を適当と認める。								

**位置図**

**ビュースポット①**

**ビュースポット②**

**【県教委・千曲市】**  
文化財保護事業で棚田の景観や環境を保全するための農道整備を実施

**【農地整備課・千曲市】**  
農業遺産魅力発信事業で昔の学校道(通学路)を整備し展望駐車場から姨捨一小さな棚田や姥捨山を望むビュースポット②へ誘導

**【千曲建設事務所】**  
展望駐車場整備

**平面図**

全体計画 L=300m  
H31 路線測量・道路詳細設計 1式

**事業概要説明図表**

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>本路線沿いの「姨捨の棚田」は重要文化的景観や名勝に指定され、「日本の棚田百選」にも認定されている。</li> <li>棚田を訪れた観光客がビューポイントの場所が分からず、展望したり、休憩したりする場所が少ない。また、棚田保全に地元の農家を含めた6組織が取り組んでいるが、高齢化も進む中で、もっと外部から人を呼び込みことが課題となっている。</li> </ul>
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	「絶景と温泉、花と歴史の街 千曲市」の魅力を最大限に引き出すことを目的に、地域・民間・行政等から構成する「科野さらしなの里サイクリング推進委員会」を設立(H30.8)。H30.9現在で合計17回開催されている。
③事業説明等の経緯	・H30.7 地元役員説明 ・H30.8 地元説明会
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域戦略推進型公共事業関連((さらしなの里、戸倉上山田温泉をめぐる 賑わいのあるまちづくり ~ 自転車道を核として ~))</li> <li>文化財保護事業で棚田の景観や環境を保全するための農道整備を実施(県教育委員会・千曲市)。</li> <li>農業遺産魅力発信事業で昔の学校道(通学路)の整備を実施(農地整備課・千曲市)し、展望駐車場から姨捨一小さな棚田や姥捨山を望むビュースポットへ誘導する。</li> </ul>
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	・現道勾配(10%)の解消により、騒音・排気ガスの削減を図る。
⑥地域活性化への影響と配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>温泉や棚田をめぐる賑わいのあるまちづくりを目指す。</li> <li>姨捨(田毎の月・棚田)へのアクセス道路であり、展望駐車場は観光地への拠点地点となる。</li> <li>本路線は戸倉上山田温泉へのアクセス道路でもある。</li> </ul>
⑦その他	・なし

**事業周辺環境**

事業代表地点の緯度経度	北緯:N 36° 29' 59.92"
	東経:E 138° 6' 2.33"

(様式2)新規評価シート

建設部 道路建設課

事業名	県単道路改築事業		路河川名等	(主)須坂中野線				
事業毎の通番	17	市町村名	高山村	箇所名(ふりがな)	紫(むらさき)			
事業概要	事業目的	当路線は高山村と須坂市を結ぶ主要道路であり、第二次緊急輸送路に指定されている。しかしながら、当該箇所は曲線区間となっており、視距の確保が十分でなく、必要な幅員が整備されていないことから、安全な通行の確保のため早期に事業を実施する必要がある。						
	しあわせ信州創造プラン2.0における位置付け	3-8生活を支える地域交通の確保(生活基盤となる道路網の整備)	事業実施の根拠法令等	道路法				
	関連する事業、計画等	第5次高山村総合計画						
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	計画交通量 2,509台/日						
	着手年度	2019(平成31年度)	事業期間	3年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)		
完成年度(見込み)	2021(平成33年度)	費用対効果	1.25	国庫	その他	県債	一般財源	
全体事業内容(主な工種)	道路拡幅工 L=180m、W=6.0(9.75)m			40,000		36,000	4,000	
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	走行経費の減少 2百万円 車両・歩行者にとって安全な道路						
	間接的効果(定量的・定性的)	地域間交流の促進						
評価の視点	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○計画交通量 : 2509台/日</li> <li>○代替道路の有無 : 代替道路は村道であるが、大型車のすれ違いが困難であり、安全性が低い</li> <li>○医療・福祉・教育施設との連携 : 高山中学校(0.6km)との連携が発揮できる道路(1次アクセス)</li> <li>○交通結節点アクセス : 須坂駅(6.7km)へのアクセス道路(1次アクセス)</li> <li>○観光振興・地域の活性化 : 信州高山温泉郷と村内観光施設との周遊ルート</li> </ul>					評価	A
	重要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○関連計画、重点施策との整合 : 第5次高山村総合計画</li> <li>○緊急輸送道路の路線指定 : 第二次緊急輸送路に指定</li> <li>○地域指定 : 振興山村、豪雪地帯に地域指定</li> </ul>					評価	A
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○費用便益比(B/C) : 1.25</li> <li>○事業期間 : 3年間</li> <li>○工法等の比較検討 : なし</li> <li>○他事業との連携 : 他事業との連携はない</li> </ul>					評価	A
	緊急性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○近年の交通事故件数 : 事故発生 2件(H25~H29)</li> <li>○道路環境改善 : 線形改良による冬期のスリップ事故等の防止</li> <li>○歩道整備 : 歩道はあるが不十分なものを再整備</li> <li>○現況の車道幅員 : 現況車道幅員5.0m</li> </ul>					評価	B
	計画熟度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事業情報の共有 : 事業調整会議にて役場職員と情報共有(H30.6.21)</li> <li>○地域の取り組み : 事業調整会議にて要望あり(H30.6.21)</li> <li>○地域の合意形成 : 事業目的について、合意形成が図られている</li> <li>○住民との協働 : 今後維持管理や環境美化に地域住民の参加が見込まれる。</li> </ul>					評価	B
	所管課意見	事業の必要性、重要性、効率性、が高いため、平成31年度から事業着手したい。			採択状況	○	総合評価	A
技術管理室意見	所管課の意見を適当と認める。							

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意ですが、見やすいもので)

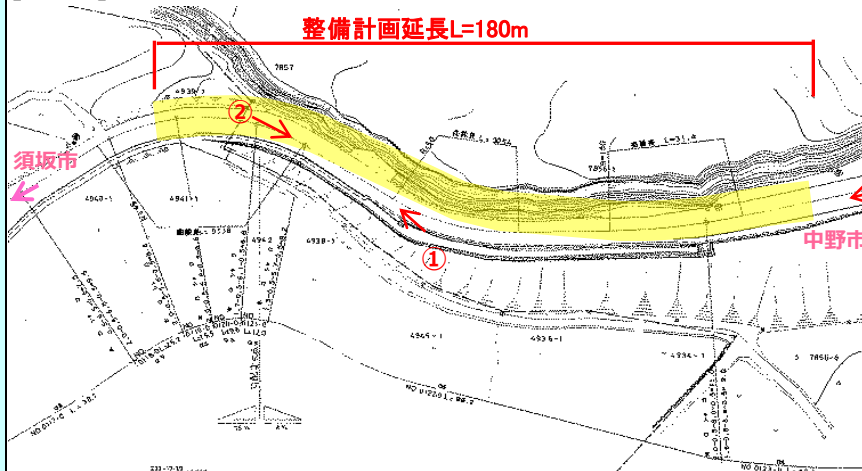
【位置図】



【状況写真】



【平面図】



事業概要説明図表

事業周辺環境

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当路線は高山村と須坂市を結ぶ主要道路であり、第二次緊急輸送路に指定されている。しかしながら、当該箇所は曲線区間となっており、視距の確保が十分でなく、必要な幅員が整備されていないことから、安全な通行の確保のため早期に事業を実施する必要がある。	
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	当該箇所は曲線区間となっており、視距の確保が十分でなく、必要な幅員が整備されていない。また付近には高山中学校及び高山小学校があり、歩行者の保護が求められている。このため、車道の線形改良及び安全な歩行空間の確保を要望されている。	
③事業説明等の経緯	地元へは今後事業化に合わせて計画を説明していく予定。	
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	第5次高山村総合計画において拡幅改良の整備促進区間として位置付けられている。	
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	環境変化に配慮し変更範囲を最小限に抑える。	
⑥地域活性化への影響と配慮	信州高山温泉郷と一茶ゆかりの里などの村内観光施設の周遊道路であるため、観光地間の連携を高める効果の向上や歩行者の安全性の向上に繋がる。	
⑦その他	事故発生 2件(H25~H29)	
	事業代表地点の緯度経度	北緯:N 36° 40' 57.42"
		東経:E 138° 21' 54.57"

(様式2)新規評価シート

建設部 道路建設課

事業名	県単道路改築事業		路河川名等	(一)牧干俣線		
事業毎の通番	18	市町村名	高山村	箇所名(ふりがな)	県境(けんきょう)	
事業目的	当路線は、群馬県と高山村を結ぶ路線であり、群馬県から信州高山温泉郷に向かう観光ルートになっている。しかしながら、当該箇所は、曲線区間である上、縦断勾配変移箇所を含むため、十分な視距が確保できない等、交通の安全性・円滑性に欠けており、安全な通行の確保のため早期に事業を実施する必要がある。					
しあわせ信州創造プラン2.0における位置付け	3-2世界を魅了するしあわせ観光地域づくり(観光地域としての基盤づくり)	事業実施の根拠法令等	道路法			
関連する事業、計画等	第5次高山村総合計画					
保全対象・範囲 受益対象・範囲	計画交通量 416台/日					
着手年度	2019(平成31年度)	事業期間	3年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)	
完成年度(見込み)	2021(平成33年度)	費用対効果	1.03		国庫 其他 県債 一般財源	
全体事業内容(主な工種)	道路拡幅工 L=100m、W=4.0(5.0)m			30,000	27,000 3,000	
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	走行時間の減少 600万円 車両・歩行者にとって安全な道路				
	間接的効果(定量的・定性的)	地域間交流の促進				
評価の視点	必要性	○計画交通量 : 416台/日(H27センサスをベースに算出) ○代替道路の有無 : 代替道路なし。 ○医療・福祉・教育施設との連携 : 高山診療所(16.7km)との連携が発揮できる道路(2次アクセス) ○交通結節点アクセス : 高山村役場(18.3km)へのアクセス道路(2次アクセス) ○観光振興・地域の活性化 : 信州高山温泉郷と万座温泉との周遊ルート			評価	A
	重要性	○関連計画、重点施策との整合 : 第5次高山村総合計画 ○緊急輸送道路の路線指定 : 指定なし ○地域指定 : 振興山村、豪雪地帯に地域指定			評価	A
	効率性	○費用便益比(B/C) : 1.03 ○事業期間 : 3年間 ○工法等の比較検討 : なし ○他事業との連携 : 他事業との連携はない			評価	A
	緊急性	○近年の交通事故件数 : なし ○道路環境改善 : 縦断勾配修正及び線形改良による冬期のスリップ事故等の防止 ○歩道整備 : 歩道無し ○現況の車道幅員 : 現況車道幅員3.8m			評価	B
	計画熟度	○事業情報の共有 : 事業調整会議にて役場職員と情報共有(H30.6.21) ○地域の取り組み : 事業調整会議にて要望あり(H30.6.21) ○地域の合意形成 : 事業目的について、合意形成が図られている ○住民との協働 : 観光シーズン前に関係地元区等による周辺整備(草刈り、ゴミ拾い)の取り組みがある			評価	A
	所管課意見	事業の必要性、重要性、計画の熟度が高いため、平成31年度から事業着手したい。			採択状況	○
技術管理室意見	所管課の意見を適当と認める。			総合評価	B	

事業概要説明図表	【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意ですが、見やすいもので)	【位置図】	【状況写真】
事業周辺環境	【平面図】		
	①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当路線は、群馬県と高山村を結ぶ路線であり、群馬県から信州高山温泉郷に向かう観光ルートになっている。しかしながら、当該箇所は、曲線区間である上、縦断勾配変移箇所を含むため、十分な視距が確保できない等、交通の安全性・円滑性に欠けており、安全な通行の確保のため早期に事業を実施する必要がある。	
	②地域からの要望経緯及び地域の関わり	当該箇所は、曲線区間である上、縦断勾配変移箇所を含んでおり、交通の安全性・円滑性の確保について役場より要望があった。(H30.6.21)	
	③事業説明等の経緯	地元へは今後事業化に合わせて計画を説明していく予定。	
	④他事業・プロジェクトとの整合、関連	第5次高山村総合計画において拡幅改良の整備促進区間として位置付けられている。	
	⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	環境変化に配慮し変更範囲を最小限に抑える。	
	⑥地域活性化への影響と配慮	信州高山温泉郷と一茶ゆかりの里などの村内観光施設の周遊道路であるため、観光地間の連携を高める効果の向上や歩行者の安全性の向上に繋がる。	
⑦その他	草津白根山噴火時等、292号通行止時の避難経路となる路線である。	事業代表地点の緯度経度	北緯:N 36° 40' 57.42" 東経:E 138° 21' 54.57"



(様式2)新規評価シート

建設部 道路建設課

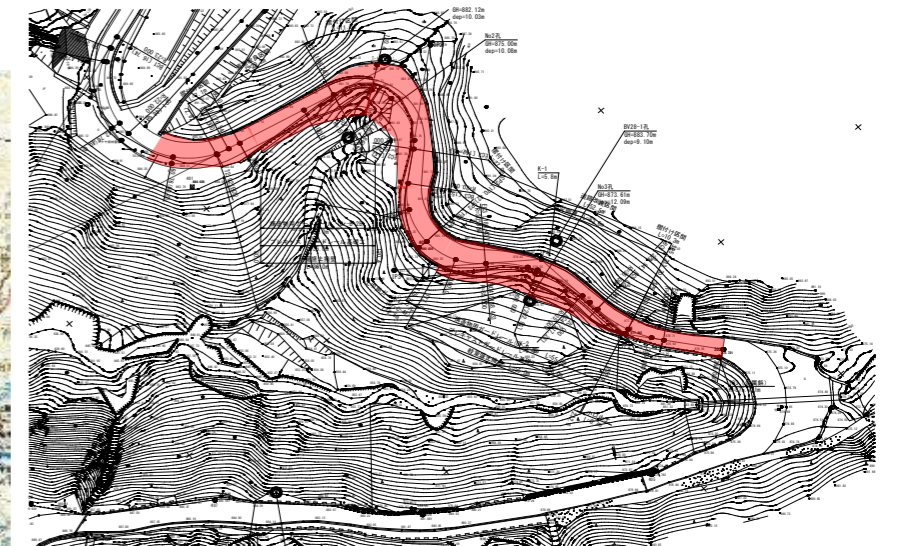
事業名	県単道路改築事業		路河川名等	(一)小川長野線					
事業毎の通番	19	市町村名	小川村	箇所名(ふりがな)	稲丘(いなおか)				
事業概要	事業目的	当路線は地域の生活道路となっているとともに、小川村と長野市を結ぶ生活路線となっている。現道は急カーブで急勾配の区間であるため、乗用車同士のすれ違いが困難であるとともに、冬季には凍結によりスリップの危険が高い区間で生活の支障となっている。							
	しあわせ信州創造プラン2.0における位置付け	3-8生活を支える地域交通の確保(生活基盤となる道路網の整備)	事業実施の根拠法令等	道路法					
	関連する事業、計画等	信州みちビジョン I-(1)② 拠点間をつなぐ道路ネットワーク							
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	小川村 計画交通量:405台/日							
	着手年度	2019(平成31年度)	事業期間	8年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)			
	完成年度(見込み)	2026(平成38年度)	費用対効果	1.1		国庫	その他	県債	一般財源
	全体事業内容(主な工種)	道路拡幅工 L=667m W=4.0(6.0)m (軽量盛土工)			100,000			90,000	10,000
	事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	走行経費の減少:5百万円 急カーブ区間を解消することにより通行の安全性を向上させる。						
		間接的効果(定量的・定性的)	地域間交流の促進						
	評価の視点	必要性	○計画交通量 : 393台/日 ○代替道路の有無 : 代替道路がない ○医療・福祉・教育施設との連携 : 小川村国保直営診療所との連携が発揮できる道路(1次アクセス) ○交通結節点アクセス : 小川村役場 ○観光振興・地域の活性化 : 観光地に通じる道路(大洞高原)、小川村国保直営診療所、小川村役場へ通じる道路						評価
重要性		○関連計画、重点施策との整合 : 信州みちビジョン ○緊急輸送路の路線指定 : 小川村の避難経路となる路線 ○地域指定 : 豪雪地帯、積雪地域						評価	A
効率性		○費用対効果(B/C) : 1.11 ○事業期間 : 8年間 ○代替案の検討 : 擁壁構造について検討あり ○他事業との連携 : 他事業との連携はない						評価	B
緊急性		○近年の交通事故件数 : 事故なし ○道路環境改善 : 危険箇所指定はないが安全を向上させる ○歩道整備 : なし ○現況の車道幅員 : 現況車道幅員3.2m						評価	B
計画熟度		○事業情報の共有 : 関係者を中心に周知(H29.5事業説明会を開催) ○地域の取り組み : 期成同盟会から毎年、要望がある。 ○地域の合意形成 : 合意形成が図られている ○住民との協働 : 住民独自の沿道草刈りの取り組みがある						評価	A
所管課意見		事業の重要性、計画の熟度が高いため、平成31年度から事業着手したい。						採択状況	総合評価
技術管理室意見	所管課の意見を適当と認める。								

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)

位置図



平面図

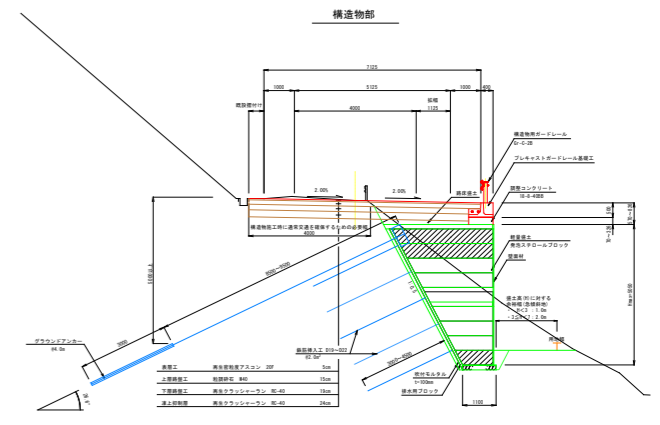


至 中条

【整備の必要性がわかる状況写真等】



標準横断面図



事業概要説明図表

事業周辺環境

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当路線は地域の生活道路となっているとともに、小川村と長野市を結ぶ路線となっている。現道は急勾配のカーブ区間であるため、乗用車同士のすれ違いが困難であるとともに、冬季には凍結によりスリップの危険性が高い区間で通行の支障となっている。	
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	毎年期成同盟会から懸案箇所の改善要望が挙げられており、H30年8月の要望でも引き続き改善要望があった。	
③事業説明等の経緯	H29年5月に関係地区の住民への事業説明が完了している。また、H30年8月に期成同盟会の総会で事業説明を行った、本事業区間も早期の事業化が求められている。	
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	なし	
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	法面等の自然環境に配慮した工法を選定予定。	
⑥地域活性化への影響と配慮	本事業により交通の円滑化が図られる。	
⑦その他	なし	
	事業代表地点の緯度経度	北緯:N 36° 38' 59" 23 東経:E 137° 59' 27" 55

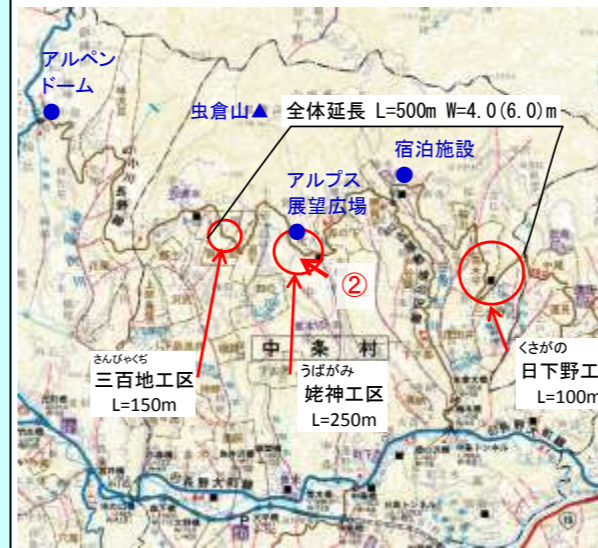
(様式2) 新規評価シート

建設部 道路建設課

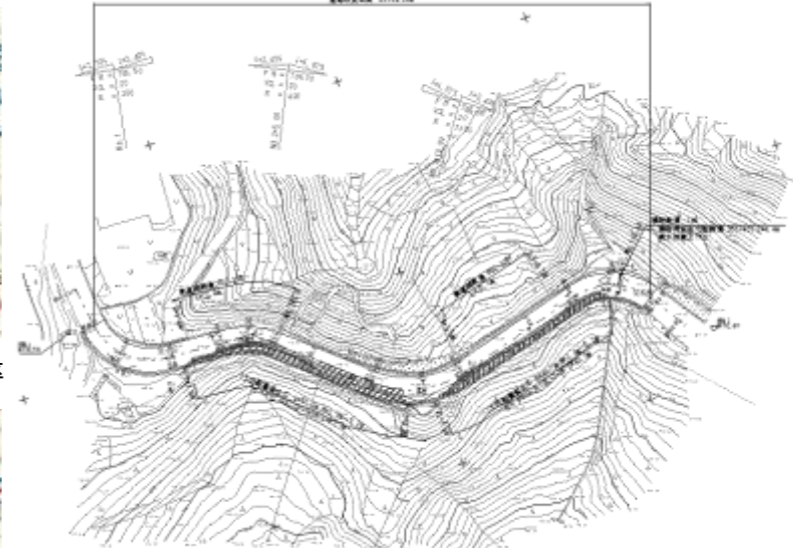
事業名	県単道路改築事業		路河川名等	(一)小川長野線		
事業毎の通番	20	市町村名	長野市	箇所名(ふりがな)	中条(なかじょう)	
事業目的	当路線は地域の生活道路となっているとともに、小川村と長野市を結ぶ生活路線となっている。現道は乗用車同士のすれ違いが困難であるとともに、冬季には積雪によりさらに幅員が狭くなり、住民生活の支障となっている。本事業は通行の支障部について1.5車線の道路整備を行うことを目的とする。					
しあわせ信州創造プラン2.0における位置付け	3-8生活を支える地域交通の確保(生活基盤となる道路網の整備)	事業実施の根拠法令等	道路法			
関連する事業、計画等	信州みちビジョン I-(1)② 拠点間をつなぐ道路ネットワーク					
保全対象・範囲 受益対象・範囲	小川村 計画交通量: 424台/日					
着手年度	2019(平成31年度)	事業期間	7年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)	
完成年度(見込み)	2025(平成37年度)	費用対効果	1.1		国庫 其他 県債 一般財源	
全体事業内容(主な工種)	道路拡幅工 L=500m W=4.0(6.0)m (軽量盛土工等)			250,000	225,000 25,000	
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	走行経費の縮減: 0.23億円 狭隘区間を解消することにより通行の円滑性・安全性を向上させる。				
	間接的効果(定量的・定性的)	地域間交流の促進				
評価の視点	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○計画交通量: 404台/日</li> <li>○代替道路の有無: 代替道路がない</li> <li>○医療・福祉・教育施設との連携: 老人ホーム等との連携が発揮できる道路</li> <li>○交通結節点アクセス: 長野市中条支所へのアクセス道路、長野市デマンドバス路線</li> <li>○観光振興・域の活性化: 観光地に通じる道路(虫倉山・アルプス展望広場・宿泊施設等)</li> </ul>			評価	B
	重要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○関連計画、重点施策との整合: 信州みちビジョン</li> <li>○緊急輸送路の路線指定: 長野市の避難経路となる路線</li> <li>○地域指定: 豪雪地帯、積雪地域</li> </ul>			評価	A
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○費用対効果(B/C): 1.1</li> <li>○事業期間: 7年間</li> <li>○代替案の検討: 構造について検討あり</li> <li>○他事業との連携: 他事業との連携はない</li> </ul>			評価	B
	緊急性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○近年の交通事故件数: 事故なし</li> <li>○道路環境改善: 危険箇所の該当はないが、安全性向上が見込まれる</li> <li>○歩道整備: 整備なし</li> <li>○現況の道路幅員: 現況車道幅員約3~4m</li> </ul>			評価	B
	計画熟度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事業情報の共有: 関係者を中心に周知(H30.7事業説明会を開催)</li> <li>○地域の取り組み: 期成同盟会から毎年、要望がある</li> <li>○地域の合意形成: 合意形成が図られている</li> <li>○住民との協働: 住民独自の沿道草刈りの取り組みがある</li> </ul>			評価	B
所管課意見	事業の重要性が高いため、平成31年度から事業着手したい。			採択状況	総合評価	
				○	B	
技術管理室意見	所管課の意見を適当と認める。					

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)

位置図



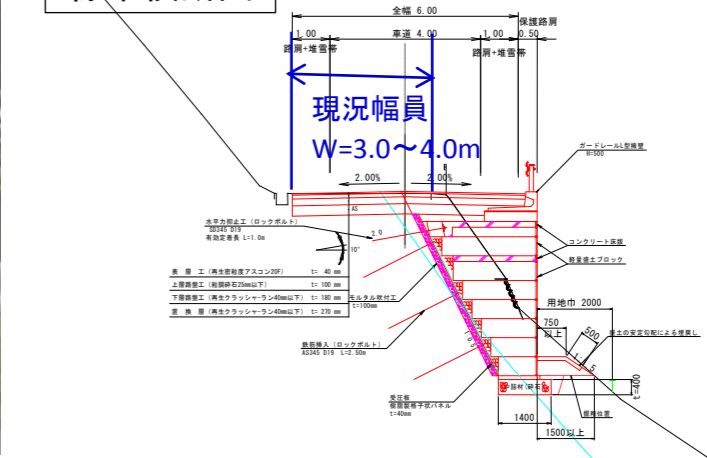
平面図



【整備の必要性がわかる状況写真等】



標準横断面図



①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当路線は地域の生活道路となっているとともに、小川村と長野市を結ぶ生活路線となっている。現道は乗用車同士のすれ違いが困難であるとともに、冬季には積雪によりさらに幅員が狭くなり、住民生活の支障となっており、地元から継続的に要望が上がっている。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	毎年期成同盟会から懸案箇所の改善要望が挙げられており、H30年要望でも引き続き改善要望があった。
③事業説明等の経緯	H30年7月に関係地区の住民への事業説明が完了している。また、H30年期成同盟会の総会で事業説明を行った、本事業区間も早期の事業化が求められている。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	特になし
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	地形の改変を抑える等、自然環境に配慮した工法を選定予定。
⑥地域活性化への影響と配慮	本事業により交通の円滑化が図られる。
⑦その他	
事業代表地点の緯度経度	北緯:N 36° 38' 11" 東経:E 138° 0' 50"

(様式2)新規評価シート

建設部 道路建設課

事業名	県単道路改築事業		路河川名等	一般国道403号		
事業毎の通番	21	市町村名	飯山市～木島平村	箇所名(ふりがな)	下木島(しもきじま)	
事業目的	(国)403号は新潟市を起点として松本市に至る主要な幹線道路です。このうち、当該区間は、幅員狭小ですれ違いが困難であること、変則五差路の交差点で事故が多発している等飯山市街地から木島平村を経て北志賀高原へのアクセス道路の円滑な走行に支障が生じている状況です。このため、幅員狭小、危険な交差点の解消を目的とし道路拡幅事業を実施するものです。					
しあわせ信州創造プラン2.0における位置付け	3-8生活を支える地域交通の確保(生活の基盤となる道路網の整備)		事業実施の根拠法令等	道路法		
関連する事業、計画等	長野県中期総合計画(事業着手)、信越観光圏、飯山市過疎地域自立促進計画に位置付け					
保全対象・範囲 受益対象・範囲	現況自動車交通量:5,761台/12h(H27センサス 上新田地籍) 現況交通量(歩行者・自転車)144人/12h					
着手年度	2019(平成31年度)	事業期間	2年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)	
完成年度(見込み)	2020(平成32年度)	費用対効果	1.4		国庫	その他 県債 一般財源
全体事業内容(主な工種)	道路拡幅工 L=1,380.0m、W=6.5(15.0)m			27,720	24,948	2,772
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	走行経費の縮減:0.81億円				
	間接的効果(定量的・定性的)	信越自然郷における地域間交流促進による観光振興 通行車両の交通事故抑制				
評価の視点	必要性	○計画交通量 : 8,100台/日 ○代替道路の有無 : 迂回路の県道あり ○医療・福祉・教育施設との連携 : 飯山日赤へのアクセス道路(2.0km) ○交通結節点アクセス : 北陸新幹線飯山駅1次アクセス、長電バス(株)野沢温泉線 ○観光振興・地域の活性化 : 北志賀高原へのアクセス道路				評価
	重要性	○関連計画、重点施策との整合:長野県中期総合5ヶ年計画(調査着手)、飯山市過疎地域自立促進計画 ○緊急輸送路の路線指定 : 飯山市緊急輸送路に路線指定 ○地域指定 : 信越観光圏、特別豪雪地域に指定				評価
	効率性	○費用対効果(B/C) : 1.4 ○事業期間 : 2年 ○工法等の比較検討 : 概略設計においてコスト比較検討あり ○他事業との連携 : 中央橋架替				評価
	緊急性	○近年の交通事故件数 : 自動車事故発生 8件(H24~H27) ○道路環境改善 : 通勤、通学時間帯の局部的現象を緩和する。 ○歩道整備 : H24通学路緊急合同点検 要対策箇所(木島小学校) ○現況の車道幅員 : 現況最小幅員5.0m				評価
	計画熟度	○事業情報の共有 : 木島地区全体に対してH27.9計画説明を実施。年度内に「現道改良」にて地域合意。 ○地域の取り組み : 一般国道403号改良促進期成同盟会等の積極的な取り組みがある ○地域の合意形成 : 木島地区の総意で地域合意形成済み ○住民との協働 : H28.4木島地区国道403号改良促進対策委員会が組織され受け入れ体制が整っている				評価
	所管課意見	事業の必要性、重要性、効率性、緊急性、計画の熟度が高いため、平成31年度から事業着手したい。			採択状況	総合評価
技術管理室意見	所管課の意見を適当と認める。			○	A	

**位置図**

**現況写真**

幅員狭小区間の冬期通行状況  
変則五差路交差点

至中央橋 ①  
国道403号 ②

**標準横断面図**

15.0  
3.5 8.0 3.5  
0.75 3.25 3.25 0.75

**概要図**

木島小学校  
変則五差路交差点  
道の駅 FARMUS木島平  
飯山養護学校  
(国)403号  
(一)馬曲木島(停)線  
至中央橋  
旧長野電鉄木島駅  
(主)飯山野沢温泉線

**事業概要説明図表**

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	平成26年12月の新幹線開業以降、(国)403号は木島平村、山ノ内町、志賀高原と新幹線飯山駅を結ぶ観光アクセス道路としての機能を期待されているが、下木島地区は、幅員狭小(最小幅員5m)及び変則交差点があり、特に冬期の交通安全確保が課題となっている。そんな中、H27年度に地元説明を行った結果、木島地区の総意において「現道拡幅」による整備を進めてほしいという方向性が出され、H28.4.14に地元協議窓口として、対策委員会も組織された。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	毎年、一般国道403号改良促進期成同盟会及び木島地区国道403号改良促進対策委員会より、幅員狭小区間、変形交差点の改良及び歩道整備による安全で安心な交通空間の確保を要望されている。
③事業説明等の経緯	H27.9月に飯山市木島地区に対して計画説明会を実施。同年度中に木島地区の総意として「現道改良」による整備推進の方針が出されたため、基準点測量及び地形測量に着手している。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	長野県中期総合計画において調査着手箇所となっており、信越観光圏の圏域内連携強化に資する道路整備である。また、飯山市過疎地域自立活性化計画においても、道路整備必要箇所として位置付けられている。
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	幅員狭小区間、変形交差点の解消と歩道整備により、交通事故発生抑制及び生活環境の安全が確保できる。
⑥地域活性化への影響と配慮	「信越観光圏」を支える道路ネットワーク整備により、魅力的な観光資源の連携が強化され、観光振興に寄与する。
⑦その他	なし

事業代表地点の緯度経度	北緯:N 36° 51' 10.92"
	東経:E 138° 22' 58.13"